

1. 件名：「日本原子力発電株式会社 東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所
第二種廃棄物埋設事業許可申請に係るヒアリング（67）」

2. 日時：令和5年4月18日（火）13時30分～14時35分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

研究炉等審査部門

菅生主任安全審査官、上野管理官補佐、大塚安全審査専門職、森田安全
審査専門職、大島原子力規制専門員

技術基盤グループ

放射線・廃棄物研究部門

山田副主任技術研究調査官

日本原子力発電株式会社

廃止措置プロジェクト推進室 室長代理 他11名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原子力発電株式会社 東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所 規制法令及び通達に係る文書（平成27年7月16日）

「日本原子力発電（株）から東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所に関する第二種廃棄物埋設事業許可申請書を受理」

<https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndl.jp/pid/11285463/www.nsr.go.jp/disclosure/law/WAS/00000045.html>

- ・ 日本原子力発電株式会社 東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所 規制法

令及び通達に係る文書（平成28年12月26日）

「日本原子力発電（株）から東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所に関する第二種廃棄物埋設事業許可申請書の一部補正を受理」

<https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndl.jp/pid/11285463/www.nsr.go.jp/disclosure/law/WAS/00000170.html>

- ・ 日本原子力発電株式会社 東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所第二種廃棄物埋設事業許可申請に関する資料提出（令和5年4月10日）

https://www.nra.go.jp/disclosure/committee/yuushikisya/tekigousei/nuclear_facilities/WAS/tokaiL3/meeting/index.html

時間	自動文字起こし結果
0:00:05	原子力規制庁のスゴウです。それではこれから日本原子力発電株式会社から平成 27 年 7 月に申請のありました。
0:00:15	東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所、第二種廃棄物前、
0:00:23	事業許可申請に関するヒアリングを始めたいと思います。本日も自動文字起こしを使用してヒアリングをしますので発言をされる際には、主所属と名前を
0:00:38	言ってからお願いいたします。まずは出席者の紹介をいたします。原子力規制庁から、研究炉等審査部門がウエノオオツカモリタオオシマとして、スゴウが、
0:00:53	放射線廃棄物研究部門から山田が出席をしております。
0:00:58	日本原電の方から出席者の紹介をお願いいたします。
0:01:04	現在の出席者ですけれども、プロジェクト医師野口市長代理 2 月部長、小林グループマネージャー。
0:01:15	浜村タナカ木曾光希武吉井橋もスタッフのハママツつつ開発計画室からフジワラ東海発電所の甲斐時田オニザワの
0:01:28	12 ぐらいの参加になります。以上です。
0:01:31	規制庁のスゴウです。ありがとうございます。
0:01:34	それではヒアリングを始めたいと思います。本日は、
0:01:38	先日 4 月 10 日に提出いただいた資料をに基づいてのヒアリングになりますが内容というよりはいただいた資料を踏まえて、
0:01:51	ちょっとここ、この後どこから手をつけていくかっていう我々規制庁ないで、ちょっと打ち合わせとか相談しまして、こういうふうに進めたいっていうのをお伝えをしたいという趣旨のシェアリングでございます。
0:02:07	衛藤先日いただいた資料は、
0:02:12	設計の話ですとか施工実現性浸透流解析それから評価の廃止措置開始後の評価の期間の話など、いろいろ入ったと思うんですけども、
0:02:25	ちょっと前々回の審査会合ぐらいから鈴木としてまずはちょっと衛藤設計のところをですねしっかり議論してある程度固めたいなと思ってましてで、
0:02:39	評価はそのあとにさせていただきたいなっていう思ってます。なのでまずはちょっと設計のコンセプトをなり方針なりっていうところですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:53	それから施工実現性、それから浸透流解析、ここら辺について審査で扱いたいなと思ってるんですけども、
0:03:04	この点、いかがでしょうか。
0:03:09	日本現状だという質問今日はヒアリング時間いただきましてありがとうございます。今申し上げましたように、治水経過の議論というのは我々の通りでして、ただ
0:03:21	前回の審査会合での直線についてきちっとこちらから理由を聞いた最後はこの優位性については、山名様の方からC P A解析のお話があったと思いますので、まず施設の設計に関する、
0:03:35	ところを議論して、あとまた資料解説のところについては我々今回の条件を見直して再評価をしたものを提出しておりますので、そこについて議論をさせていただければと思います。
0:03:47	ただ一方で、侵食量評価のところは、前回、前々回の審査会合でも少し論点になっていたところだと思います。志和屋今回その侵食量の評価のところを、
0:04:00	状態設定の中の影響しないと判断した根拠の中に出ておまして、ここも一応今回どうしてる中では一つ大きなポイントなのかなと思います
0:04:14	が、その辺比嘉場の新保。
0:04:14	規制庁のスゴウですコアシさんのおっしゃる通りで、寝食表カーマ設計に直接張れるものだと思いますし、
0:04:25	どちらかというと、300、今回開発措置開始後の評価で300っていう花Cの資料も出てきましたけど、
0:04:37	どちらかというと
0:04:40	ちょっとまず衛藤300年間で今回、どれほど、1000年間での量ほど土壌が流出するかっていうのを、
0:04:50	評価されてますけれども、
0:05:00	年間、その評価期間でどれぐらいっていうよりは、我々も気にしてるのが、その壁崩れの的なものとか、
0:05:10	もう気にしててがけ崩れっていうかモリタが崩壊するっていうのも気にしててですね、そういった断面設計の善し悪しを、ちょっと
0:05:22	審査しようとするとな、300年間の評価というよりも、降水量がすごい多い時に、
0:05:32	大丈夫かどうかっていうところとかにも、の評価とかにもなってくると思うので、今ちょっとその半数近い所の評価の状態設定のところ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:44	語ってもらってるんですけども、設計の中でそこは示してもらいたいなと思ってるんですが、よろしいですかね。
0:05:57	二本木常務の倉地です。立ち上げたのは、デモの表面の進捗状況下のところの評価を、
0:06:11	設計のところのピークという話なのか、それとももう大きめの
0:06:17	シンプル解析の中で、今おっしゃられるような器具ではないですけど、その覆土を崩壊しないのかどうかというのを浸透流解析の観点から議論したいということが、
0:06:29	規制庁のスゴウ浸透解析っていうよりも設計そのものですかね、の中でちょっと説明してもらいたいっていう、
0:06:39	感じです。
0:06:46	業務のうちでございます。ちょっと確認させていただきたいんですけども、今おっしゃられたのも、まず施設の構造として続いた構造のハウチンというものを説明したように、
0:06:58	診療部解説の方で今後確認、その中で、水上市内っていうことを確認していただき、釈然とそういったところで確認していただく数字集中化。
0:07:12	規制庁のスゴウですその根拠として浸透流解析を伝えたいっていうのであれば今、野口さんがおっしゃった通りでも構わないです。
0:07:22	いずれにしてもちょっと我々がやっぱ気にしてるのは、衛藤園美ズーが、中に、江藤保護層の中には、まず、
0:07:34	基本的には入ってくるっていう設計だと思ってそのまま職制とか施してないんで岩野下はSなんていう状態ですから、そういった場合に、衛藤真帆
0:07:49	覆土の崩壊とかに対して、その水がしみ込む量とかも踏まえてですね、しないのか、新するのかっていうところも踏まえて、失格だから大丈夫ですっていうのを、
0:08:02	をお示ししてもらいたいなというふうに思っております。
0:08:09	日本原子力発電の鬼沢です。ご説明ありがとうございます。1点ちょっとそ、今議論の中で確認させていただきたいんですけども、福場。
0:08:20	伴先生の話ですと、力学的な安定性っていう観点での確認をしたいというようなご意向でしょうか。
0:08:31	規制庁の宗です。力学的な安定性、
0:08:36	というと、力学的な安定性かとは思いますが、
0:08:41	ちょっと何でしょう。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:48	その方向と層に、要は水が飽和して、その待機でなくなったときに、うまくずれないのかとかですね。
0:08:58	今、掘削抵抗性層のところで水を吐き出すってような、ここコンセプトというか、明確にはそこ言ってもないと思いますけど、
0:09:11	は、
0:09:14	廃止、排水した先が、する先が詰まったりして、壊れないのかとかですね、そういうのは一応考えられると思ってて、前からもそこら辺指摘はしてると思うんですけども、
0:09:27	明確な回答はまだいただいてないのかなと思ってるので、そういうのも含めてしっかり設計のコンセプトを語っていただきたいと思ってますが、いかがですか。
0:09:43	日本減少活動の梅沢です。ご説明ありがとうございます。
0:09:47	設計のコンセプトと考え方については、説明の補強数という話であれば、その部分についてはちょっと検討させていただきたいと思います。
0:09:58	ただ安定性の話に関しては、例えばですけども、最終話に関しては、例えば、最初の部分が、
0:10:11	ポンプ上げてくれないのかという話だと思うんですけども、その評価に関しては別の評価の中で、す。
0:10:22	いや面倒なんですべて登録するってということなんですね、評価をさせていただいてるんですけども。
0:10:33	その中で、途中のところは包含した状態でのですけども、その中ではないのんですけども、そういうことをおっしゃってるってことを、
0:10:46	提携をする規制緩スゴウですね、どういう示し方をするかは別に、こちら変わりがないんで、
0:10:57	持つってことを示してもらえればそこは構わないんですけども、
0:11:04	ええと、ちょっといろいろ教えてもらえれば、この後お話をしようと思ったんですが、今資料が、この前消していただいたMARK-11提出いただいた資料をベースにお話を、
0:11:19	ちょっと発注した形で出してもらってて、その我々の指摘への対応というのがバラバラといろんなところに書かれたりしてわかんないんで、
0:11:33	ちょっと私が先ほど言った、設計の話等施工実現性の話と浸透流解析っていう、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:42	ちょっとテーマに絞ってしっかりと、ちょっと資料をまとめていただきたいんですね。その中で、今どこでやってるんですけどちょっと話はあるんじゃないでしょうか、
0:11:55	その中で、設計の中を使って、その安定性の話とかも、
0:12:06	しっかりお伝えしてもらえればと思うんですけども、よろしいですか。
0:12:16	日本原子力発電の鬼沢です。衛藤先ほど私の方でご確認させていただいた人は、結局各条項ごとに、
0:12:27	安定性とかについての要求既許可基準というか要求がありますので各条項ごとに、そちらに
0:12:37	ちりばめられて書かれてる形になるので、
0:12:41	それだとわかりにくいので、まとめて、そういったものをもろもろ含めて情報にこだわらずに、
0:12:47	説明をいただきたいというふうな理解をしたんですけども、
0:12:53	そういった感じです。はい。規制庁のスゴウですそういう意味では地盤、地盤だとか、衛藤何でしょう、地震とかに対する安定性というのは、今議論になってないんで、
0:13:06	議論したいのは、
0:13:10	藤。
0:13:11	表面の、
0:13:12	リルート係とかのその侵食評価を、それから前々から我々言ってる、覆土のほぼ土葬とかが崩壊しないのかっていうそこに限っています。
0:13:26	はい。
0:13:36	ノグチでございます。審査資料の5項部分の議員の質問をさせていただいて、説明する最後のポイントについてですけども、今後、
0:13:47	今同様に事項となっておりますが、今こっちの方からしますと、ちょっとバーコードの部分で、今のテーマごとにやっていただきたい。チームにちょっと、
0:13:57	規制庁のスゴウです。どちらかというと、
0:14:01	パワーポイントもし、ちょっと審査資料も条項ごとになってる間にちょっといろんなところにちりばめられもし、ちょっと審査して、
0:14:12	議運で今のその何でしょう、今の懸念点っていう観点でいうと散りばめられてしまってるんで、一度そのテーマに沿って資料を作ってください

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	て、その内容がよければ、審査資料として情報ごとのところにまた戻してもらいたいっていうそんなイメージです。
0:14:33	言語ノグチございます
0:14:35	例えばですね、その提案させていただいて、あそこを利用した部分を審査資料の何ページというふうに具体的に書く、そういう形できっかけでしょうか。
0:14:46	一応4次のやつっていうのは、いただければと思います。
0:14:57	規制庁の宗です。その時に、そうするとパワーポイントみっちり書いてもらわないと、結局呼び込みに行くと、その通らないと、見込み量をまためくってとか、
0:15:13	聞いたりする人等、パワーポイント等んでもいいですし何でもいいんですけど、みっちり帰っていただければ、そこは構わないんですけども、
0:15:24	ただ、
0:15:28	その
0:15:49	院長の接続をちょっと改めて確認させてください。人間です。経済の規制値の音声、いかがでしょうか。聞こえておりますでしょうか。
0:16:01	違う。聞こえております。はい。
0:16:07	大坪さんも聞こえておりますでしょうか。
0:16:10	聞こえてすみませんありがとうございます。
0:17:32	よろしゅうございます私達、大変申し訳ございません。ちょっと編集関係に時間改造の件もあるんですけども合計をですね、テーマごとにまとめさせていただきたいと思います。以上です。
0:17:47	規制庁のスゴウです。すいませんちょっとどうしても今回資料、ちょっとめっちゃ行ってるのかもしれないんですけど、資料をちょっと、
0:17:58	確認するときに、やっぱりこう、いろんなところに書いてあったり、一連で、
0:18:04	何て言うんですかねTコナガ例がなかなかわからないというか、かなり読みづらくてですね。
0:18:15	ちょっとそこでまず苦労したんで、ちょっと申し訳ないんですけども、特にやっぱり説明なので、ちゃんとその説明の流れがですね、しっかり
0:18:29	繋がっているとか、そういうところろうも見てますので、ちょっと申し訳ないんですけどもうちょっとそこはお願いしたいと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:39	衛藤。
0:18:41	なのでちょっとまとめると設計のところで侵食の評価とかも含めた話も含めた設計のところで、
0:18:54	それから施工実現性ですね、低透水性覆土の施工実現性の話と浸透流解析という、ちょっと大きく三つのテーマだと思うんですけど、
0:19:08	このテーマに従っ沿って、ちょっと資料を作っていただければと思いますのでよろしくお願いします。
0:19:19	衛藤すいませんちょっと先日、提出いただいた資料で、現時点でその資料を再度作成すると記載に、説明をする。
0:19:34	してもらいたいところが何点か、今の時点にありますので、ちょっとそれお伝えしますのでを反映いただければと思います。
0:19:47	それでちょっと規制庁側から、衛藤、何点か指摘をお願いしてよろしいですか。
0:19:55	あ、はい規制庁の大塚でございます。そうしましたら現時点で気づいてるところ何点か、
0:20:04	別途お知らせしたいと思うんですけども、まず先ほど一番の議論にすでに出ておりますけれども、設計のコンセプトとか方針に関するところなんですが、資料1-2のところ、
0:20:14	最終覆土の各層の目的等それぞれがどういう機能を持っているかっていうのをまとめていただいています。これはこれで大分わかりやすくなったと思うんですけども、前回の審査会合での指摘事項はですね、
0:20:28	一部指摘への対応されてると思ってんですけども、こちらの趣旨はEPAのガイドとの比較によって、原電の速度構造がなぜこうなってるのかを説明して欲しいということ。
0:20:42	でした。で、今回は原電さんのその覆土構造のそれぞれの層の役割と機能が書いてあるんですけども、EPAのガイドでいってるところの最終カバーというのはこういう構造でそれぞれこういう機能を持っているとされていますと。
0:20:59	それに対して今回の
0:21:03	覆土は、こういう構造で、こういう機能を持っていますと、で、ちょっとここここは同じになっているここここは違うだけけれども、これこれこういう理由で、それでも大丈夫だとは思っていますっていうふうにですねその対比において、今回の覆土設計の妥当性というのを、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:19	説明して欲しいというのがS 審査会合での趣旨でした。そういった点で、少し説明を補強してもらいたいと思うんですけどもそれはお願いできますでしょうか。
0:21:32	日本原子力発電のコアシですご質疑ありがとうございますT P Pの概要の比較についてはそのように対応させていただきます。ちょっと確認なんですけど、岸、鬼頭主査の施設設計においてポートに繋がるE P Aの場合では、血球処分同じタイミングであって、
0:21:49	ここで起きてるような西浦とか設計の工事っていうのは、我々の
0:21:54	比較をして、部門になってるかという説明が必要だと思うんですけど、このE P Aに従うべきという何かそういう考え方というのは何かございますでしょうか。その辺ちょっと確認させていただければと思います。
0:22:08	はい。規制庁の大塚でございます。E P Aのガイドに従わなければならないとは思っていませんこれは当然そのE P Aのガイドが国の規制体系に取り込まれておりませんので、その通りでなければならないとは思っておりませんしその通りであれば無条件でもある。
0:22:23	ということも思っていないです。ただやはり技術的に、
0:22:28	審査会合の中とかです。ねこれまでのヒアリングでもヤマダの方から再三ご説明していると思いますけれども、これまで様々な覆土の公開とかです。ねいろんなその失敗が世界各国で起きていて、そういったもののその教訓を踏まえてある一つの技術的な
0:22:46	7集大成といいますか、相手ガイドが出ているというふうにこちらは受けとめております。で、そういった意味である意味ベストプラクティスじゃないですけども、
0:22:59	その既存のものとして考え方が、はある中で、今回その原電さんのいくと設計はその表面に1億とかです。ね若干衛藤我々としては、
0:23:11	今これまでに聞いたことがないというところとちょっと言葉悪いかもしいんですけれども、は、初めて見るような設計のところもありますので、
0:23:21	その既存のですねそのままであるある意味ベストプラクティスと比較して、ここはこういう違いがあるんですけどもそれはこういう理由で自分たちはいいと思っているというそういった説明をしていただけると非常にわかりやすいのかなと思ってます様は、
0:23:34	こちらもある一つのベースとしてE P Aのガイドの設計のその考え方というのは頭の中にありますので、そことの比較で、こういう設計をし

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	てこうこうこういう理由で大丈夫ですっていうふうに言ってくると非常に間考えやすい。
0:23:50	どうかなと思ってます。植村さんなんかちょっとありますか。
0:23:57	お母さん江藤。
0:24:00	説明は以上なんですけれども、
0:24:02	ちょっと不明点があれば、
0:24:04	この場で明らかにした方が多分
0:24:07	またやりとりがなくて済むかと思いますので、
0:24:11	消火栓の投資ですね。ありがとうございます趣旨を理解していただきまして丁寧に説明いただきまして本当にありがとうございます。起訴登録になりますのでちょっとそういった形で審査資料の中でもう少し我々の考えというものを、
0:24:24	具体的に説明したいと思えます。この経済部磯野の公開というものとかに関して言えばこれは村野高瀬の5月ですとか、水が下がるかどうかの水圧の方でしていく場。
0:24:39	そういったところがあって、起こる現象だと思えますので、おそらく我々がそういうところを明確に今まで説明できていないところを懸念されているのかなと思えますが、ちょっとあのEPAのガイドでは確かに植生というのは例として挙げられてるんですけど、
0:24:54	そこは医師というものも別に否定はしなくて、どちらかというところと我々の考えで言えば、短期の間の期間であれば、そういった女性がまずは候補としてあります。ただ、北出の間に植生の管理が届かないような、
0:25:08	にできないよ、そういったところに範囲に折れば、その石を使うとか、そういったものは、この表、表面の職安侵食、侵食の整備は非常に効果があると思ってますので、
0:25:21	そういった設計の説明というのが、次回ご説明できればと思います。ありがとうございます。
0:25:29	はい規制庁の大塚でございます。よろしく申し上げます。さっきのですねスゴウさんとの議論の中でもありましたけれども、審査資料、
0:25:39	まとめ資料みたいな形ですかね。このこの形式にした時にその一部本当に原電さんがお考えの細かいところまで書ききれないとかあまり細かい話を書いてしまうと、平仄が合わなくなるとかいろいろ問題はそれはそれであると思うんですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:53	なんですけども、やはりどういう検討をされてどこまで考えてこういう設計になってるのかというのをこちらもしっかりと理解するのが大事だと思ってますので、
0:26:04	そういった意味では先ほどスゴウさんの方からも言いましたように、いわゆる審査資料のこの形式ではなくて今、問題となって今議論している、そのこの 이슈 にそ特化した形でまとめてもらえると、
0:26:18	その中で、本文で書きづらければ別添とかそういう形でもいいと思うんですけども、そういう、そういったところでどういうお考えをされているのかというところを、衛藤。
0:26:29	なるべくちゃんと書いていただけると、わかりやすいのかなと思ってます。よろしく願いいたします。
0:26:37	平常点を壊してしまいました。やっぱり規制庁の大塚です。もう1点あるんですけども、ベントナイトらの施工実現性に関するところなんですけど、
0:26:51	今回その代替指標による管理ということで、エントランスホール率は森中瀬瀬ですか、見ていきますということでした。で、これまでもヒアリングの中で、
0:27:05	たかもしれないんですけども、今回そのベントナイト混合率11が、衛藤、
0:27:13	なんていいますか中深度処分とかそういったもっとレベルの高い処分を比べると大分低い混合率になってるんだと思うんですけども、
0:27:22	そうしたときに、特に今回再婚濃度を使うということもありますので、そのベントナイト混合の中に、友利のライトがちゃんと均一に分布分散するんですけども、マクロな透水性が一定の性能をトタン発揮する上で、大事になると思ってます。
0:27:42	で、今回今回の資料構成は実験室レベルの
0:27:49	なんつうか、実験室レベルでちょっとデータから実際そのマクロな施工にどうつなげていくのかってところをかなりロジカルに説明されていると思うんですけども、
0:27:59	そのミクロからマクロに展開したときに、そのベントナイト今後途中のモンモリロナイトの不均一性が生じないようにどういった管理をしていくのかっていうところ、その均一性をどのように確認していくのかっていう、その点というのはこの覆土せ、透水係数とそのマクロに一定の値以下になるというのを証明する上で大事な点だと思う。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:19	ているので、ちょっとその点の情報を追記していただきたいと考えておりますが、ご対応いただけますでしょうか。
0:28:29	ところ、
0:28:35	ラインチーフさん、
0:28:41	日本原子力発電の鬼沢です。ご説明ありがとうございます。ちょっと1点だけ、ご意見等いただきたいんですけども。確かにテントレーツ高効率の方が、
0:28:57	高レベルの方の施設設計に比較して低いっていう形にはなっております。その点を踏まえてベントナイトのところか
0:29:08	均一に入ってるのかどうかっていう話をされてる議論にしたいということだと思うんですけども。
0:29:15	ただその、今回、東海L3の施設なんですけども、高レベルと違って方、体に入れてるわけではなくて交替に入れて、かつ、
0:29:29	表層の部分のところで水の方が、
0:29:34	配管室、施設のあるところに排出されるっていうようなところの構造となりますので、
0:29:41	そこまで未苦勞での不均一性っていうのは考慮すべきというふうなお考えなんでしょうか。ちょっとそこのところが、
0:29:52	やはりどうしても不法値にそこまで必要かどうかっていうのは、
0:29:58	ちょっと言葉もあれですけど、今井地区に落ちないってことでありますので、ちょっとその束感覚的論理も構わないのでご意見いただければと思います。はい規制庁です。
0:30:12	すいません。はい。規制庁の大塚でございます。ご質問ありがとうございます。ちょっと明確化のために確認すいません逆質問で申し訳ないんですけども多分これコアシさんに対する質問になると思うんですが、
0:30:22	この評価上施設浸透水量は、江藤で透水性覆土のマクロな透水係数に応じて入ってくるという設定をされてますでしょうか。
0:30:32	いいですね。そこで、
0:30:36	昨日得するですね。
0:30:40	もう一度詳しいですね
0:30:44	今、ご質問いただいた件で、毎月の状態設定で、我々がその可能性が高い状態と厳しい状態で接している、それぞれ抵抗性動向等、特に経過についての駆動を透水係数の設定について、これが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:00	バブラなものを見てるのか、ミクロなものを見てるのかというご質問いただいたと思うんですが、
0:31:08	はい規制庁の塚田です。その通りですと、というのもですねさっきの鬼沢さんのご質問の趣旨は、要はその高レベルとかと違ってそこまで厳密にぎりぎりやるものではないので、
0:31:19	その均一局所的には不均一で、その水が通りやすいところもあれば取りにくいところもあるそういったものでも十分じゃないかということだと受けとめたんですけれども、
0:31:29	結局、この評価って今設計した設計に基づいてそれが長期的にどう変わっていくのかというのを設定して線量評価すると思うんですけれども、
0:31:41	床の透水係数の設定は、長期の施設浸透水量の評価のもとになっていて、
0:31:48	その透水係数がそのまま全体の平均値でこれ以下であるというふうに設定するのであれば、当然その設計段階でも、全体の平均がちゃんとそれ以下になるように設計され施工されなければならないそれを確認しなければならないというのが、こちらのスタンスです。
0:32:05	ですので、ちょっと確認させていただいた次第ですね多分これがオニザワさんへの回答にも直結することだと思うんですけれども、
0:32:17	日本原子力発電、そしてウエノ法を理解いたしました。そういった観点で言いますと、毎月の状態設定の透水係数は、ミクロなものを指しているものではなくてこれはマクロで全体の評価交通係数という形での評価を持っておりますので、
0:32:33	局所的な沈没新法の経過を見て、全体的に評価をする。うん。はい規制庁の大塚ですありがとうございます。そうしますと鬼沢さんへの回答になるのがですね、
0:32:52	こちらとしてみなければならないと思っているのが、その全体のマクロの透水係数としてそれ以下になるというのが施工段階でどう担保されるのかというのを、確認しなければならないと思っています。
0:33:04	そうしたときに、当然ある程度のばらつきは想定されると思うんですけれども、現場施工レベルでの想定されるばらつきを踏まえてもマクロでこれ以下の透水係数にちゃんとなるんだというところをどう、
0:33:18	証明するのかっていうところが肝になると思うんですね。で、嘘そういう意味で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:25	このモンモリロナイトのその均一性、ここで言ってるその均一性って一言で言いましたけれども、何て言いますか分子レベルで完全に均一に入ってる必要があるとは必ずしも思っていないんですが、
0:33:38	今回その必要とされる性能さっき小橋さんがご説明いただいた通りのことだと思うんですけれども、その性能をちゃんと満足するように、施工ができるのかといった観点で、ちょっと必要な情報が足りないんじゃないのこちらとしてはベントナイトの均一性という観点を説明が抜けてるんじゃないかと思った次第です。
0:33:55	それで、ちょっとこちらの問題意識はご理解いただけましたでしょうか。
0:34:10	本検証活動の鵜沢です。
0:34:12	ご説明ありがとうございます。江藤。今のご提出させていただいた資料では、届く範囲で、
0:34:20	施工したときに、目標とすると計数の満足ができるかどうかの説明が足りてないというご指摘だと理解しました。
0:34:33	ただ、そこの部分については、一応私どもの
0:34:41	お考えとしては、説明をしたつもりではあったのですが、具体的にどのような説明が足りないというふうに、その後感じられているのか、遅く、説明いただけると非常に助かるんですが、いかがでしょうか。
0:34:57	うーん。
0:34:59	はい規制庁の大塚でございます。えーとですね、資料見ていて、足りないのと思っ
0:35:08	ていたのがですねベントナイト混合度の混合率 10%、13%に設定してどうこうというやり方を、そういったを作るところと、その結果として透水係数がこうなりますっていう、データを載ってるというのは認識しています。
0:35:24	その時に、あとせえと施工、要はベントナイト混合度を作るときに、真ん中の問題ないと、なるべく均一に分散させるためにこういうのは、これこれこういう配慮をしてその混合度を作っていますと。
0:35:37	その結果は、
0:35:41	その作った混合度の透水係数がそのばらつきも踏まえてこの程度の範囲でおさまっているんで、従ってそのマクロの透水係数のレート設定
0:35:52	添 10 のマイナス 10 乗メートルパーセクに対してそのばらつきを踏まえても、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:58	十分に全体の性能が担保されますというような説明ってどこどっかに課されてます。
0:36:05	そうだね。今の資料1-1見てるんですけど、
0:36:14	こうして、
0:36:16	月内診療機器、
0:36:25	日本原子力発電の鬼沢です。ご説明いただいた内容ですと、70、混合率15%の濃度でつくれる。
0:36:38	つくれるのかという説明については、
0:36:41	特段、
0:36:44	結局、重量換算のところ、重量比で15%を入れたので、15%でできてい いるっていう説明と、
0:36:56	細粒分のばらつきがこの範囲。
0:37:00	僕、こういった範囲でなってるので、
0:37:06	その配慮、ばらつきをおさめますっていう説明は入れる。
0:37:11	しております。
0:37:14	ただ、それは、
0:37:18	最終的に守るべきは透水係数なので、その範囲で、製造のところで売 れたとしても、
0:37:27	頭数件数の方は、
0:37:32	最終的には満足できるというようなご説明の仕方をしたというふうな認 識なので、
0:37:39	今ご指摘いただいた点を踏まえて、ちょっと御説明の、
0:37:46	内容が不足があるのかと、あと説明の順番ですね、についてちょっと考 えさせていただければと思います。以上です。芳賀社長の岡です。
0:37:58	ご説明ありがとうございます。ちょっとすみません内相談しますので一 緒お待ちください。
0:40:26	原子炉規制庁の大塚でございますすみません私しました。
0:40:30	資料1-1のページのところ、
0:40:36	10ページ11ページのところを見ると、
0:40:41	ベントナイト混合の中の江藤守ないと直接測ってなくて、その細粒 分、
0:40:49	細粒分が所定のばらつきの範囲内に入っていることをもって、衛藤。
0:40:55	ベントナイト混合の中に、問題等が均一に入ってるっていうのが間接的 に証明しようとしているように見受けられるんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:04	その細粒分を代替しようとしたときに、そもそも須賀の中に入っているその細かいものもあれば、あと本文審査資料の本文を読んでいくと
0:41:16	ミキサーで混ぜるときにその細粒分が増えていますとこれは何か須永砕けたんじゃないかみたいな議論もされているですけども、
0:41:25	そういった
0:41:27	衛藤。
0:41:28	7なんていいですか、細粒分がある程度のばらつきの範囲に収まっているんですけども、まもりライトってそのきちんと所、均一に入ってるのかってのは必ずしも、
0:41:41	なんか一体証明になってないように思えるんですね。
0:41:44	特に今回は、大量の現地発生度に対して少量のベントナイトを混ぜるということなので、
0:41:53	なんですねその中でちゃんと均一に巻きついたらその程度論があると思うんですけども、
0:42:00	入ってるっていうのが、もう少しそこ補強していただきたいと思っていて、
0:42:07	11 ページとか見ると、
0:42:09	そうやって作ったそのベントナイト今年度の投資試験やっていますけれども、
0:42:14	2 点ないし 3 点、他のデータでこういって、
0:42:19	いるんですが
0:42:21	6 だからいいのかな。吉池さん、中津君何ですか。
0:42:30	十条守らないという。
0:42:32	そういうことですね。
0:42:35	そうですね。11 ページサイズ 11 図とか見ると、
0:42:41	定数が少ないことに文句を言ってるわけじゃないんですけども、その十条守らなければならないものに対してかなりそのぎりぎりのところである程度ばらついているようなデータもあってですね、今回 2 点なのでたまたま
0:42:54	ぎりぎり入ってるようにも見えるんですけども、
0:42:57	何て言うかね、この点数をですね例えば 100 点やってくださいとかそういうことではなくて、
0:43:03	多分これはこれで、この点数しかないんだと思うんですが、これでも良いのであれば、ミキシング段階でそのモンモリロナイトが均一に入るよ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	うなその配慮としてこういうことをやっていますとかですねそういう説明があって、
0:43:17	この透水係数の変化のデータがあって確かにそのぎりぎりのところもあるんだけど、こういう理由で、10乗以下はマクロに担保できますというような説明があると、当間全体が、
0:43:31	こう説明できるのかなと思ってます。山田さんどうですか。
0:43:37	ちょっとヤマダです。ちょっと補足をさせてください。見てみました。第七つですか。
0:43:47	横軸に有効回答率、縦軸に透水係数をとったんじゃなくて、これ
0:43:53	J Aさんとかいう、海外も含めてよくやられるルーまとめ方なんです
0:44:03	ちょっと、もうちょっとというかかなり問題のあるまとめ方だと思っておりますというのですねこれ
0:44:11	一つの直線に乗っているように見えますけれども、右端の方と左端の方で、この透水係数成り立ちのメカニズムは全く違うんですね。
0:44:24	えっと右端考慮中のために、ちょっとこのスケールアウトしたところだと思いますがそちらは、勉強会との相関っていう日ナノメーターオーダーの狭い区域のところを、
0:44:38	水をどう通るかっていう話をしていますし、中間ぐらいのところであれば、相関ではなくて、ベントナイトの微粒子、
0:44:49	の間のところの、
0:44:52	森谷が薄く入ってるところの取り方がどうかということを行っていると思いますそれから、
0:44:59	今回使おうとしているような非背後のところだと、諏訪粒子の周りに、ベントナイト守れない人が入っている部分と入っていない部分、ないしは、
0:45:11	数が入ってる部分と、5階っていうそういったばらつきの結果として、
0:45:17	マウスが入ってる部分のネットワークが相当数kそっち見ている、そういったメーカー人数だろうと言われてます。それって、あんまりですね、これ、
0:45:28	いつも高いところと比較しても意味がないんですよね。この低いところにおいて特に今回、13%で話をしていますのでそういった品背後のところ

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:38	どれだ形の、きちんと札部を、周りを直すように戻すやつ入っているのかどうかというこれが鍵ですので、
0:45:48	そこについては、比較的少数の試験をもって、高いところから外挿して成り立ってますという言い方はですね、あまり適切ではないというふうに考えておりますあつて、この
0:46:02	目指した配合のところでの透水係数の確保の成り立ちについて、しっかり話をすべきだというふうに思っております。
0:46:28	あ、すいません規制庁のスゴウですちょっとごめんなさいあの、今使ってるかい会議たくがちょっと次、次の予約が迫ってるようなので、
0:46:39	ちょっと申し訳ないんですけども、もう何点か規制庁側から伝えておくべきことがあると思うので、ちょっと先そこを伝えてしまってもよろしいですか。
0:46:53	東京の堀田です。でもちょっと駆け足でありますけどもどちらから指摘を少しお伝えさせていただきます。
0:47:01	私からの指摘がですね進捗評価に関連するところなんですけれども、資料2-1-1のところですね進捗評価に関しての記載を追記していただいております、
0:47:14	R F S エネルギー機器の方で進捗評価を行ってという、情報を追記していただいているかと思えます。
0:47:24	で、こっちについてなんですけれども、この評価自体っていうのはこの評価を使うっていうところあるんですけども、この、この規模、
0:47:34	いや別にどれだけ、
0:47:37	いくつっていう、ここへ計算するような評価式になってたと思うんですけども、この評価がですね単位面積当たりでどれぐらいの土が失われるかっていうところを実際に捲って評価しているというものになっているんですけども、
0:47:52	これは基本的にはこの年侵食っていうところに、
0:47:57	包括して評価しているものになってることになります。
0:48:01	であつて以前からご指摘しております線的侵食流侵食であつたり浸食だつたりっていうところについては、若干置かれていることによって、生じないっていうような、この説明がなかなか資料の中で書かれてはいるんですけども、
0:48:17	実際にですねリリース侵食が起きないっていうところの理由が少し良くなつていうふうに考えています。というのをですね、若干動くことに

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	よって、雨が降ったときの雨滴によるマガリであったりとかっていうところは抑えられるということが実際あるかと思います。
0:48:34	けれども、弱風化部1枚紙を母国ことによって、ある程度粒度が限定されるっていう効果もあるかと思います。
0:48:43	流路が限定されるということで、
0:48:45	上から流れてきた水っていうものが表面を流れていく際に、面的に流れるのではなくて、その中に沿って、出ていく、このルールに沿って流れていくって文章自体はその理由侵食に近いような形になる可能性も考えられるかと思います。
0:49:05	リーダ世代も、
0:49:06	流速がどんどん上がって消せ前屈が起きていくってというような、そういう想定はしなくていいのかっていうところについては、
0:49:14	説明を補強していただいた方がいいかと思います。
0:49:18	なので若干増えるからリル侵食大侵食が起きませんというところではなくて、雨が降った際に丁寧に水が流れるってところについて、ジャグを行っているこの状況において、
0:49:31	今の侵食メカニズムが想定されるから現象としてどのようなことが想定されるか、不適であるってところ、今申し上げたようなルールがあって仙骨が進むであったりとか、
0:49:44	実際どのようなことが想定されるか、それに対してそれぞれ防止できているかっていうところについて、少し整理をしていただいた方がいいかなというふうには考えております。
0:49:54	続けて表面就職についてはその中について、少しもう少し検討いただきたいというふうに考えております。
0:50:02	当面続けていきますけれども、先ほどお話にもありましたけれども、
0:50:09	内部での覆土の崩壊、不安定。
0:50:12	これについてなんですけれども、ちょっと先ほどお話していたときに、水、浸透流解析によって、水が流れていくか水がたまるかどうかというところで、そこのお話、
0:50:24	もう少し現在としては着目されてるような形になっていたんですけども、我々としてはですねその水が溜められなくてみんな変わることに
0:50:37	この状態になって不安定化するっていう、
0:50:41	一般としてはあるかと思いますが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:44	そこがないというところに加えてですね、まずタイピングであるっていうようなみずから、覆土の中を流れていくことによって、細かい粒子、ベントナイト、下に敷いているベントナイト粒子であったりとか、上に置いてある覆土の粒子であったりとか、
0:50:59	粒子がですね、水がよく流れる、今この設計の中で掘削抵抗性で一番流れやすいようになるかと思うんですけども、そちらの方、水が流れていく際に、一緒に引き継ぎが十分して、状況が全部流れ出ていって、そういったものがあって、覆土が崩壊するっていうような、
0:51:18	これは管理されておられません。
0:51:23	含めて、実際どういう現象が覆土の崩壊に繋がるのかっていうところについてまず整理をして、それについて、
0:51:31	防止ができていくかというところ。
0:51:34	ご説明いただく必要があるかというふうに考えております。
0:51:37	今申し上げた、サイティングだったりとかっていうところについても、
0:51:43	IPOのガイドであったりとか、当間他の事例だったりすると、例えば塗るか何か風化をするような場合もあるので、人数の違いフィルカフェのような工夫をかませて、どうぞ。
0:51:56	流れ出ていくことを防止するであったりとか、いろいろ対策としても考えられますけれども、現状では現状設計ではそのような層っていうところを考えずに、まず
0:52:06	方法があって、策定構想があって
0:52:10	ヘッドセットがあってそういう管理運営を作るっていう形になっておりますので、このビジョンの内部での充実の増資であったりとかっていうところについても、どのように防止するかっていうところについても、
0:52:23	ご検討いただく必要があるかというふうに考えております。私はこの2点が指摘事項となります。以上です。
0:52:33	衛藤原子炉規制庁の大塚です。続けて私からもう1点だけ。
0:52:38	浸透流解析に関するところなんですけれども、以前ですねヤマダの方から、江藤前に出していただいた浸透流解析でりゅうせき線がその低透水性土壌の中を水鉛直下向きにこうずっと入ってくるのが曲げせないというような指摘をさせていただいたかと思う。
0:52:56	てます。で、今回、今、採石状況をいろいろ変えて、当間流関線が大きく変わっています。衛藤審査資料の中ではその後、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:08	解析条件として何を変えたのかっていうのを書いてあるんですけども、
0:53:13	衛藤。
0:53:15	柳関さんがですねここまで変わった理由が、なぜなのかというところが、書いてないんですね。解析条件特にそのパラメーターと境界条件で何かその設定値を変えたのかっていうのはちょっと必ずしもその前回との比較で、百々。
0:53:31	なんか境界条件変わったのかどうかっていうのはよくわからなかったんですけども、その解析条件の違いを踏まえてなぜそのりゅうせき線がここまで変わったのかっていうのはちょっとそこですね考察といいますか説明を追加してもらいたいと思ってます。お願いできますでしょうか。
0:53:50	なんだっけ。
0:53:51	日本の白川瀬野ハウチンです。最後大塚さんからいただいたところについては理由についてちょっと詳細に書けるようにちょっと資料をし直したいと思います。以上です。
0:54:03	はい規制庁の小塚でございます。よろしく申し上げます。衛藤規制庁側でもですね再現解析をいろいろとやっているところでもありますので、ちょっと
0:54:12	違いが何なのかっていうのは、
0:54:15	明確にさせていただいてその上で、どういう現象が起きてるのかっていうのを少し考えたいと思ってますよろしくお願いたします。
0:54:22	あと過ぎさ規制庁からの指摘は以上になりますけれどもです。
0:54:26	はい。所長のスゴウです。今ちょっと最後駆け足になってしまったんですけども今の時点で、ちょっとどうしても聞いておきたいことって、原電からありますか。
0:54:40	すいません日本原電の田中です。ご説明ありがとうございます。1点確認させていただきたいんですけども、先ほどEPAとの比較の説明のお話がありましたのでこちらで準備させていただきたいと思うんですけども、
0:54:54	GPAは、ご存知の通り、一般廃棄物の認可にあたっての幼虫に対して全般的な書いてありまして、例えばサイト選定だったり、
0:55:06	あとは運用中のオペレーションの話だとかあとは地下水の収集とかそういうのも書いてあるんですけども、衛藤比嘉空部長の設計との比較に

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ついでご説明するという観点でいくと、基本的には直タールV Iの奥とクロージャーの部分の、
0:55:23	暴露2はBだと思うんですけども設計の話、あと、先ほどのインター間のご指摘を踏まえると、もう少しその運用中の直4の、
0:55:34	設計ですかね石神井とかその辺の話はフィルターのご指摘もありましたんで、そのあたりも入るかなと思うんですがそちらの観点で企画をご説明するという、
0:55:46	ことで、になってますでしょうか。以上です。
0:55:50	CO・OP堀田です。膳本関連でご説明いただくということも一つの介護方法になるかと思えます。こちらとしましてはご説明いただく方としては必ずしも先ほどくるもう一度ありましたけれども必ずしもそれがいいというふうに、
0:56:06	おるわけではなくて、それがこのレベル更新、検証が起きたときに、対応、この検証自体を、
0:56:17	防止できるか、会社として機能するかというところがメインになります。その一つのやり方としてEPAの方で対応して防止できるというふうな説明ができるのであれば、それも一つの説明の仕方になるかと思えます。
0:56:37	原電、田仲です。はいご説明ありがとうございます。了解いたしました。
0:56:41	宮崎です。はい。そうですか。どうぞ。はい。すいません、最後大塚さんからいただいた浸透解析とかをちょっと教えて欲しいんですけども。
0:56:54	これまでの審査資料をお示しする場合はですねリバイスしたものの内容のみしか基本的に示してない状態で、過去の資料みたいなあんまり見せていなかったところがあるんですけども先ほどのご指摘をしないと括弧11月ぐらい昨年11月ぐらいに説明した資料はこうなってますけどっていうのを、
0:57:13	入れた資料にした方がよろしいっていうことで、市長、衛藤原子力制庁の布田でございます。最終的にですね提出いただく江藤磯何つか体裁がそろった審査資料の中では、
0:57:26	この最新の解析とこうなってますだけでいいと思ってます。他方、冒頭にスゴウの方から指摘しましたように、今回議論している、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:37	課題に対して、その1機の仕様じゃないですけど、一気に通貫の資料をそれぞれまとめてくださいというお話をしたかと思うんですけども、その中で、この柳関線の話は一つ議題、話題になっていますので、
0:57:51	前回こうだったところに対して今回こういう解析、変更を加えたところをこうなりましたと、その理由はこうだと思われましていう、説明をしていただきたいということですね。ですので、
0:58:01	今回のその課題ここ今回のこのテーマに対しての説明の中では、前回こうだったものに対して今回ここを変えたらこうなりましたっていう説明をしてくださいというお願いです。
0:58:14	はい、わかりました。日本原子力発電のハウチンです。そうしました。
0:58:21	規制庁のスゴウです他よろしいですか。
0:58:26	基本継承活用のオニザワです。1点だけよろしいでしょうか。
0:58:31	はい。
0:58:32	はい。最初の方の説明で資料1-1の中で、7ページの資料の17。
0:58:41	友好モニュメント乾燥率と透水係数の関係について、山田様の方から補足説明をいただきました。
0:58:50	その内容としては、これを多分持ってきて比較するのはちょっとまずいんじゃないでしょうかというご指摘だと思うんですけども。
0:58:59	確かにご指摘いただいた通り、きっとベントラインとの混合率によって透水特性が
0:59:08	違うメーカーに透水特性として、最終的にでき上がる当然特性が、止めのメカニズムが違うよってという話は、その通りだと思います。
0:59:20	ただ、ここの各この有効山路だって乾燥物でやってますので、結局、ベントライとの混合率がここに現れて、最終的にこのぐらいの混合率だと。
0:59:34	透水係数がこのぐらいってような知見だと考えておりますので、ここの比較自体も、それはちょっとまずいんじゃないでしょうかという、
0:59:44	ますので、それはどうでしょうか。均一に入って、そうじゃないものに関しては、その件数をどう担保してるのかというのを私にただデータだけ比較するのはまずいんじゃないですか。
1:00:04	はい。山田でございます。
1:00:08	これ三つ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:10	有効守内藤密度高い方は、結果的には割とその均質性が保ちやすい条件なんですよね。で、
1:00:21	そちらも本当は大きな試験で確認するところあるんだと思うんですが、そういう状況に対して品背後の方が、そういう均質性がまず保ちにくいところであるからこそ、
1:00:36	それをちゃんと保っててますという主張であればそれを示してくださいってのが趣旨でございます。それで、
1:00:42	こういう整理をしたらこの辺りになりますよ。それ一つの要衝にはなりませんので、そういう比較をするのは結構かと思います。ただ、菅。
1:00:54	チョイスした方がいいと思いますのは、
1:00:59	須永どん
1:01:01	ぼんぼり以外の、
1:01:03	須田も含めてですね。
1:01:04	そことの比率11を、
1:01:09	考え、それが他の
1:01:12	これどちらかと影響しませんという整理なんだけれども、そうしていいのかわかっていうのはよく考えた方がいいところだと思います。
1:01:22	特に萩尾赤津、衛藤御社の設計は、締め方三つ水を上げることによってさらに貧配合でも成り立つという、
1:01:33	横村確保できるというそういう設計にしようとしておりますので、そのところの何ていうか、
1:01:41	品質に対する要件はより高まっているというふうにご主張認識された方がいいと思います。以上です。
1:01:51	日本原子力発電の鬼沢です。ご説明ありがとうございます。
1:02:07	日本原子力発電のオニザワつ申し訳ございません最後の発言が、聞き取れなかったのですが、
1:02:13	もう一度ご説明いただいてもよろしいでしょうか。
1:02:17	ちょっとヤマダでございます。ここが、
1:02:25	特に今のこの御説明規制庁ヤマダでございます今聞こえてますでしょうか。
1:02:41	はい。ちょっと途切れた上ではあるのですが一応聞いていて、はい。ちょっとゆっくり目でしゃべりたいと思います。
1:02:51	今日本原電の説明されてる資料を見ますと、最終的に13%という品配合において、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:03	透水性が1010乗と確保されるというご説明をされているかと思 います。で、
1:03:13	ためには、
1:03:17	かつ、
1:03:19	締固めの密度を比較的上げることによって、有効モンモリロナイト密度 が確保されるというご説明もされていると思います。
1:03:29	従いまして、こうした品配合においても、その周りの諏訪の間にちゃん と登れないと分散して入るようなそういった、
1:03:43	今後の方法それから施工の方法がされていて、それを実証されているん だと、いうことを示す必要があるということになりますので、
1:03:54	他のをもっと、例えば20%であるとか、70%あるとか、そういった配合 のものと比べますと、そこの
1:04:06	少し大きなレベルでの、今後が均一されてるかどうかということに関す る証明の要件っていうのは、
1:04:16	より、むしろ高い。
1:04:18	状況にあるというふうに考えておりますので、そこ認識されて、ご説明 されることが必要だと思います。
1:04:25	以上です。
1:04:32	日本原子力発電のオニザワ劣後説明ありがとうございます。要は説明こ の手の積このずーに限らず、
1:04:42	ベントナイトが均一に入ってるっていう説明は、何らか必要だよという ことのご指摘だと理解しました。ありがとうございます。
1:04:53	はい。
1:04:57	が規制庁のスゴウですちょっと時間がすみません、押してしまってるん で、モシイ何かどうしてっていうのがあればメールなりで質問いただ ければと思います。なので、
1:05:12	ちょっと今日のヒアリングはこれで終わりにしたいと思いますが、当資 料の件につきましてはちょっと、その構成も含めてですね一通りま とめてくれっていうお願いをしていますので、
1:05:28	衛藤提出がちょっといつぐらいになりそうか、の目等がちょっと経ちま したら、まずちょっと連絡をいただきたいんですけどもよろしいです か。
1:05:40	ハママツです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:46	はい。規制庁のスゴウですすいませんちょっと最後、駆け足になってしまったんですけども、ヒアリングは以上で終わりにしたいと思います。ありがとうございました。
1:05:57	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。